

B. 屋内緑化コンクール 緑の取り組み部門
日本ハンギングバスケット協会理事長賞
明治安田ビジネスプラス株式会社
明治安田生命保険相互会社

(受付番号B-3)

(フリガナ)	メイジヤスダセイメイトウヨウチョウビルでのジュンカンガタセイサンリョクカノテンカイ
取組名称	明治安田生命新東陽町ビルでの「循環型生産緑化」の展開
所在地	東京都江東区東陽 2-2-11 明治安田生命新東陽町ビル
応募施設	1 公共 2 学校 3 病院 4 老健 5 事務所 6 商業 7 集合住宅 8 その他
取組期間	2024 年 7 月 1 日～

○取組みの概要 (必須)

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、株式会社プラネット（代表取締役 大林 修一）と協働し、明治安田生命新東陽町ビルにて、「循環型生産緑化（注1）」を展開しました。

本プロジェクトは、サステナビリティ経営の一環として、自社内での循環型生産緑化に取り組むことを目的に、明治安田ビジネスプラス株式会社の障がい有する職員（以下、メンバー）が、育苗作業の担い手となっています。

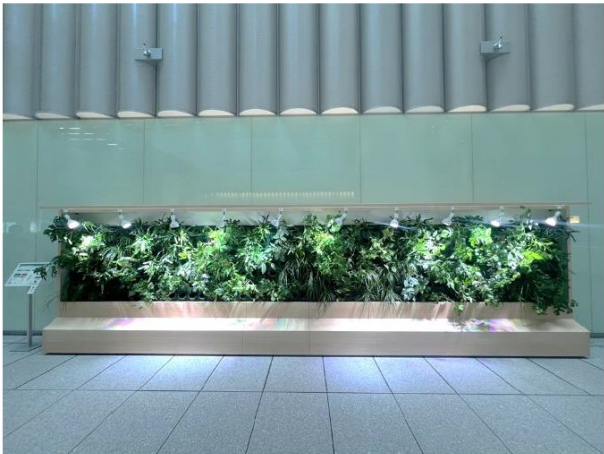
育苗後の植物は、「未来世代応援活動」（注2）の一環として、昨年度より当社が協賛している「Jリーグ×小野伸二 スマイルフットボールツアー for a Sustainable Future supported by 明治安田」（注3）に参加する小学生への配付や、職員のSDGsへの意識醸成を目的としたオフィス緑化への活用を進めています。

（注1）持続可能な社会をめざして、資源の循環利用と環境保全を両立させるための植物の生産活動と緑化活動を組み合わせた概念

（注2）当社は、こどもの健全育成や環境保全など、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献する活動を「未来世代応援活動」として推進しています

（注3）Jスマイルフットボールツアーでは、サッカー教室とあわせて、サッカーを通して気候変動に対するアクションの重要性を伝えることを目的に「サステナトーク」を実施しており、そのなかで、苗木を配付

<壁面緑化>



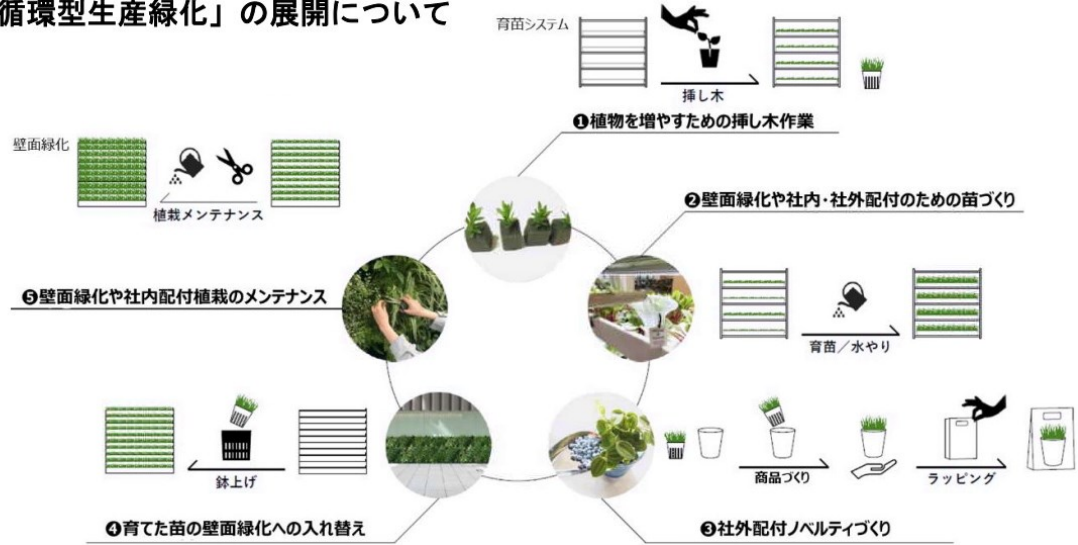
<育苗システム>



○取組みのシステム (必須)

- 明治安田ビジネスプラス株式会社の障がい有する職員が以下の作業を実施します。
- ① 植物を増やすための挿し木作業
 - ② 壁面緑化や社内・社外配布のための苗づくり
 - ③ 社外配布ノベルティづくり
 - ④ 育てた苗の壁面緑化への入れ替え
 - ⑤ 壁面緑化や社内配布植栽のメンテナンス

■「循環型生産緑化」の展開について



○取組みの具体的活動内容 (任意)

明治安田生命新東陽町ビルにおける循環型生産緑化の展開により、従業員は日常的に豊かな緑に触れる機会を得ることができます。この取組みは、従業員に癒しを提供し、ストレスの軽減と心身のリフレッシュを促進します。結果として、従業員の健康とウェルビーイングが向上します。さらに、明治安田ビジネスプラス株式会社のメンバーが「みどりの仕事」に従事することで、彼らにとって生きがいとやりがいのある職場環境を提供します。この取組みは、メンバーが自らの能力を最大限に発揮し、生き生きと働くことができる環境を整えることを目指しています。このように、循環型生産緑化の実践は、従業員の健康促進と障がい有する職員の生きがい創出を両立させる素晴らしい取組みです。

■挿し木作業の様子



■Jスマイルフットボールツアーで配布している苗木

